

性 能 表




HDR_10

	0.8mmピッチ BOARD to CABLE ヘロースタイプコネクタ RoHS 対応品	製品番号	HDR-E50LFYP(G1)-(SL)+ HDR-E50LFYW(G1)-(SL)+
定 格	電 圧	AC 125V (r.m.s.)	
	電 流	0.5A (1A/1コンタクトのみ)	
	温 度	-55°C~+105°C(ケーブル側コネクタ、ケースを含む場合-40°C~+70°C)	
	湿 度	90%以下	
	保存温度、湿度	-40°C ~ +70°C、90%以下	
適合コネクタ、ケース	HDR-E50MAG1(+), HDR-E50LP(A,B)(5)		

特 性

No	項 目	条 件	認定試験	製品検査	
1	外観・構造・仕上げ	JIS C 5402 4.1 項により、付図及び引用規格に適合すること。	○	○	
2	寸法	同 上 4.2 項により 同 上	○	○	
3	表示	同 上 4.4 項により 同 上	○	○	
4	かん合性	同 上 4.3 項により、適合コネクタと異常なく嵌合すること。	○	○	
5	絶縁抵抗	MIL-STD-202F 302 により、適合コネクタ同士を嵌合して隣接コンタクト間(嵌合部と半田付け部)及びコンタクトとシェル間の絶縁抵抗値を測定したとき、1000 MΩ 以上 試験電圧: DC 250V(1 分間印可)	○	○	
6	耐電圧	同 上 301 により、適合コネクタ同士を嵌合して隣接コンタクト間(嵌合部と半田付け部)及びコンタクトとシェル間に AC 350V(実行値)を 1 分間印加したとき、せん絡及び絶縁破壊のないこと。	○	○	
7	接触抵抗	JIS C 5402 5.4 項に準拠し、端子間にて測定 70mΩ 以下	○	-	
8	挿抜力	雌コネクタ外 単体	同 上 6.4 項及び 6.6 項により測定し 鋼製 テストピン 挿入力 2.45N 以下 抜去力 0.49N 以上	○	-
		コネクタ総合	現物嵌合 挿入力 68.6N 以下 抜去力 18.62N 以上	○	-
9	耐湿性	MIL-STD-202F 106 により、湿度 90%~98% 温度 -10°C ~ +65°C、時間 240H で試験したとき、使用上不具合となる、変形、ふくらみ等の異常のないこと。 耐電圧 AC 350V、絶縁抵抗 500MΩ、接触抵抗 70mΩ 以下	○	-	
10	熱衝撃性	同 上 107 により、温度 -55°C ~ +85°C で 10 サイクルで試験したとき、使用上不具合となる、変形、ふくらみ等の異常のないこと。 耐電圧 AC 350V、絶縁抵抗 500MΩ、接触抵抗 70mΩ 以下	○	-	
11	耐振性	同 上 204 により、周波数 10Hz~500Hz、15 分掃引 振幅 1.52mm 加速度 98m/s ² 、X,Y,Z 方向各々 3 時間で試験後、 使用上不具合となる、変形、欠け、割れ等の損傷のないこと。 注 1	○	-	
12	耐衝撃性	同 上 213B により、加速度 490m/s ² 、X,Y,Z 方向(上下合わせて)6 方向、各 3 回ずつ計 18 回で試験後、使用上不具合となる、変形、 欠け、割れ等のないこと。接触抵抗 70mΩ 以下 注 1	○	-	
13	繰返し動作	JIS C 5402 6.3 項により、5000 回の抜き差し後、使用上不具合となる、変形、欠け、 割れ等のないこと。 接触抵抗 70mΩ 以下	○	-	
14	塩水噴霧	MIL-STD-202F 101 により、5%塩水、温度 35°C、時間 48H で 試験後はなはだしい腐食のないこと。 接触抵抗 70mΩ 以下	○	-	
15	硫化ガス (H ₂ S)	JIS H 8502 に準拠し、濃度 3ppm、時間、温度 40°C、48H で 試験後はなはだしい腐食のないこと。 接触抵抗 70mΩ 以下	○	-	
16	寿命(高温)	MIL-STD-1344 1005 により、85°C、1000H で試験したとき、使用上不具合となる、 変形、ふくらみ等の異常のないこと。 接触抵抗 70mΩ 以下	○	-	
17	耐溶剤性	エチルアルコールで洗浄したとき、外観上損傷がないこと。	○	-	
18	半田付け性	JIS C 0053 に準拠し、245±3°C、3sec.で試験したとき半田濡れ性が 95%以上の こと。	○	-	
19	半田耐熱性	以下の条件にて試験を行なう。 リフロー : ピーク: 240~250°C、10sec.未満 半田付け: 220°C、30~60sec. プリヒート: 150~180°C、90~120sec. 手半田 : 380±10°Cのコテで 4 秒以下。 試験後、熱的損傷がないこと。	○	-	
20	ロック強度	98N 以上のこと。	○	-	

備 考
○ 半田付作業の注意事項 推奨値
リフロー : ピーク: 240~250°C、10sec.未満 半田付け: 220°C、30~60sec. プリヒート: 150~180°C、90~120sec.
手半田 : 380±10°Cのコテで 4 秒以下とし、コテ先でコンタクトに負荷を与えないこと。
注 1. 瞬断は 1μ sec. 以下のこと。

					承 認		検 図		検 図	-	作 成	
△	年月日	変更者	変更内容	承認	本多通信工業株式会社			作成 2006年6月28日				